

世界自然遺産の小笠原にある小学校

小笠原村立小笠原小学校

令和元年度 学校要覧



小笠原小学校 校歌

作詞・作曲 藤木資洋

一 すみわたる空の青さに

照り映える二見の海よ

美わしきここ小笠原

われら今友とつどいて

すこやかにからだ鍛えん

あ々小笠原小学校

二 さわやかに風はわたりて

山々は紫紺にけぶる

美わしきここ小笠原

われら今友とつどいて

豊かなる知識学ばん

あ々小笠原小学校

三 さみどりに芝生はもえて

さようもまた千鳥とびかう

美わしきここ小笠原

われら今友とつどいて

夢多き未来語らん

あ々小笠原小学校



World Natural Heritage Ogasawara Islands

世界自然遺産 小笠原諸島



父島ならではの特色ある教育活動

伝統

小笠原の文化を大事に

南洋踊りや太鼓、アオウミガメをはじめとした固有種や希少種を教材とした授業、「小笠原」の自然や人と関わる学習活動を行います。



4年「小笠原の太鼓の学習」



5年「アオウミガメの学習」

感性

確かな学力・豊かな心

島ならではの感性を生かして、どこにでも通用する学力を身に付けさせるとともに、人や自然とのつながりを通して豊かな心を育成します。



3～6年「算数少人数学習」



1～6年「外国語活動」

教育目標は、知・徳・体の調和

- ・自分を大切にし、思いやりの心をもとう
- ・夢や目標をもち、たえず学び続けよう
- ・心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう



学校の教育目標を達成するための基本方針

確かな学力

全教科・領域において楽しく分かりやすい授業を展開し、確かな学力の向上を図ります。家庭と連携した学習習慣の定着を推進します。

豊かな人間性

基本的な生活習慣や規範意識、協調・共生の意識を身に付けさせ、子供たちの自尊感情を育みます。

健やかな体・安全

運動や健康・安全に関する取組を主体的に行うことができる子供を育てます。家庭・地域と連携して健康的な生活習慣を形成し、子供たちの心身の調和的な発達を図ります。また安全教育に関する指導を徹底します。

地域との相互連携

家庭・地域と学校が相互に連携・協力して子供の成長を支えます。自然災害はもとより、地域と協働して緊急対応の体制を整え、安心・安全な学校づくりを行っていきます。また、教育活動を理解していただくための工夫を行い、家庭・地域の教育力を学校へ導入すること、学校の地域活動への参加を推進します。さらに、保・小・中連携、学校間連携を充実します。

組織的・計画的・円滑な学校運営

小笠原小学校の実践の更なる充実・浸透に向けて、組織的・効率的に取り組めます。各教職員が自分の職責・役割を自覚し、計画に基づいて学校全体で共通な実践をしていきます。

信頼される教職員

教育公務員としてのサービスの厳正に努め、職務を通じて住民全体に奉仕するという任務を負っており、子供たちをはじめ保護者や地域の方々の信頼を得ることが大切です。そのために、日常的な研さんに励むと同時に、教師自身が心身ともに健康で、よりよい教育活動を行う力を維持できるようにします。



令和元年度の概要

教職員一覧

担 当	氏 名	担 当	氏 名	担 当	氏 名
校 長	横山 優美	3 年	武村 健司	事 務	片山 理奈
副校長	荒川 弘樹	6 年	木村 隆志	用 務	橋本 剛一
主幹：5 年	小川 陽介	1 年	山崎 友紀乃	英会話指導員	クワラルス アン ポクリン
主任：ヤシの木教室	綿貫 一明	音 楽	浅野 晴美	スクールカウンセラー	山口 晃弘
主任：2 年	土橋 紀子	ヤシの木学級	前田 圭祐	支援補助員	磯部 純子
主任：少人数算数	志村 佳成江	家庭科(中・兼務)	平久保 達弥	支援補助員	高橋 浩子
主任：図工	小野里 雅由	養 護・ 特別支援コーディネーター	阿部 大樹	支援補助員	秋葉 美穂
4 年	松丸 弘樹			支援補助員	並木 奈津子

児童の状況（令和元年5月1日現在）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	ヤシ	計
男子	8	11	19	19	14	18	1	90
女子	15	15	12	9	14	15	0	80
合計	23	26	31	28	28	33	1	170

学校行事予定

月 日	行 事	月 日	行 事	月 日	行 事
4 月 8 日 9 日 1 2 日 2 2 日	着任式・始業式 入学式 1 年生を迎える会 保護者会 交通安全教室	9 月 2 日 6 日 1 4 日	始業式 水泳指導終 学校公開・保護者会	1 月 8 日 1 8 日	始業式 学校公開 ・道徳授業地区公開講座
5 月 7 日 1 1 日 1 5 日 2 1 日	家庭訪問始(～17 日) 遠足 3・4 年 学校公開・引き渡し訓練 スポーツテスト 遠足 1・2 年	1 0 月 5 日 6 日 1 0 日 2 0 日	連合運動会前日登校 小中高連合運動会 個人面談(～25 日) 母島移動教室 6 年 (～22 日)	2 月 中旬	新 1 年生保護者会 小学校体験入学 中学校体験入学
6 月 3 日 7 日 2 5 日 2 6 日	水泳指導始 集団下校 小港キャンプ 5 年(～26 日) 開校記念日	1 1 月 中旬 2 2 日	就学時健診 展覧会(～23 日)	3 月 4 日 9 日 2 4 日 2 5 日 2 6 日	6 年生を送る会 保護者会 卒業式 修了式・離任式 春季休業日始
7 月 1 日 2 日 7 日 8 日 1 0 日 1 9 日 2 2 日	父母学習交流会 南島洋上学習 6 年 遠泳大会 保護者会 セーフティ教室 終業式 夏季休業日始	1 2 月 2 日 2 5 日 2 6 日	保護者会 終業式 冬季休業日始		
8 月 3 0 日	夏季休業日終				



遠泳大会



父母学習交流会



小中高連合運動会



展覧会



小港キャンプ



南島洋上学習



母島移動教室



卒業式

学校の沿革

昭和43年	6月26日	小笠原諸島の日本復帰に伴いそれまでの米軍関係のラドフォード提督学校の校地、校舎を引継ぎ、東京都小笠原村立小笠原小学校と小笠原中学校を開校、初代校長 有馬 敏行 就任
昭和44年	6月25日	返還一周年記念式典
昭和47年	9月4日	小学校、中学校離別式
昭和47年	12月19日	校旗制定
昭和48年	7月14日	新校舎落成及び記念式典、ラドフォード提督学校地より現在地に移転
昭和50年	6月22日	グラウンド完成及び記念式典
昭和52年	6月12日	体育館落成及び記念式典
昭和53年	6月14日	プール工事完成及びプール開き
昭和53年	6月26日	開校10周年記念式典、校歌制定及び発表会
昭和59年	10月30日	台風22号のため体育倉庫全壊
昭和63年	6月26日	小笠原諸島返還20周年記念式典、パレード全児童参加
昭和63年	11月24日	開校20周年記念式典、第1回父島・母島児童生徒による交歓会
平成元年	10月2日	ミルク給食開始
平成2年	1月14日	第18回ロードレース大会に学校行事として参加
平成2年	4月1日	小学校長配置により小学校初代(通算9代)校長に松島八寿男 就任
平成4年	2月21日	絶滅に瀕する小笠原固有種「ムニンノボタン」の植樹
平成4年	4月1日	2代(通算10代)校長 濱名 啓三 就任
平成5年	11月21日	小笠原諸島発見400年、返還25周年記念式典
平成6年	2月12日	天皇皇后両陛下下幸啓関連行事に児童参加
平成6年	4月1日	3代(通算11代)校長 藤村 雄二 就任
平成8年	4月1日	4代(通算12代)校長 齋藤 健治 就任
平成10年	4月1日	5代(通算13代)校長 池田 光生 就任
平成10年	6月25日	開校30周年記念式典 小笠原返還30周年記念パレード
平成12年	6月20日	英会話に親しむ授業開始
平成13年	4月1日	6代(通算14代)校長 長島 忠義 就任
平成14年	4月1日	学校週5日制完全実施
平成15年	4月9日	全校一斉で朝読書開始
平成15年	6月2日	外国人講師による全学年の英会話授業開始
平成16年	4月1日	7代(通算15代)校長 金子 和明 就任
平成18年	4月1日	通級指導学級「ヤシの木教室」開設
平成19年	4月1日	8代(通算16代)校長 大松 亮 就任
平成20年	6月26日	開校40周年記念式典
平成20年	7月4日	小笠原諸島返還40周年記念パレード
平成21年	4月1日	9代(通算17代)校長 大瀧 浩之 就任
平成23年	3月11日	東北地方太平洋沖地震による大津波警報発令のため体育館に避難所開設
平成23年	6月8日	小笠原村内水不足のためプール指導中止
平成23年	10月14日	世界自然遺産登録記念式典参加(3～6年)
平成24年	4月1日	10代(通算18代)校長 吉岡 俊幸 就任
平成25年	4月1日	東京都スポーツ教育推進校に指定
平成25年	10月5日	小笠原諸島返還45周年記念パレード
平成26年	4月1日	11代(通算19代)校長 西澤 盛和 就任
平成26年	11月8日	第5回ESD大賞 審査員特別賞受賞
平成28年	4月1日	特別支援学級「ヤシの木学級」開設
平成28年	11月18日	優良PTA文部科学大臣表彰
平成29年	4月13日	オリンピック・パラリンピック教育アワード校表彰
平成30年	4月23日	子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰
平成30年	6月30日	返還50周年記念祝賀パレード・式典
平成31年	4月1日	12代(通算20代)校長 横山 優美 就任



返還50周年記念祝賀パレード



返還50周年記念式典

ヤシの木教室（特別支援教室）・ヤシの木学級（特別支援学級）について

本校では、特別支援教育校内体制の整備を進め、学校全体として特別支援教育の充実に向けて取り組んでいます。詳細につきましては、特別支援教室要覧、特別支援学級要覧をご覧ください。

ヤシの木教室（特別支援教室・通級指導学級）

通常の学級に在籍する発達障害等（自閉症、情緒障害、注意欠陥多動性症候群、学習障害等）で、通常の学級におおむね参加でき、一部特別な支援を必要とするお子さんを対象としています。

児童一人一人の教育的なニーズをつかみ、充実した学校生活や日常生活が送れるように、より適切な教育を支援します。

ヤシの木学級（特別支援学級・知的障がい学級）

ヤシの木学級では、将来の就労や自立した生活、生活の中での困り感の軽減を念頭におき、幅広い活動を行います。買い物や公共施設利用の学習などがその一例です。

自分らしく生活していくために必要な、自己決定力や自己表現力を育成するために、児童の実態に合わせた独自のカリキュラムで指導を行い、支援します。

小笠原村立小笠原小学校

〒100-2101 東京都小笠原村父島字宮之浜道

TEL 04998-2-2012

FAX 04998-2-3055

HP <http://www.ogashou.ogasawara.ed.jp/>

